

詩のような

「建築は時にポエジーです。(中略)

何かを表現するための物が存在するということなのです」

1977年 カルロ・スカルパ ウィーンでの講演

広大な言語の海のなかから、丁寧に拾い集る。

ひとつひとつを吟味し、慎重に並べていく。

そうして、調和のとれた言葉の連なりとなる。

建築もそうつくられるべきだと思う。

そのようにして生まれた建築からは、

優れた詩人が紡ぎ出す言葉に似た詩性を感じることができる。

